

Rotary

Yachiyo



イマジン
ロータリー



2022-23 年度国際ロータリーテーマ

「イマジン ロータリー」

2022-23 年度クラブテーマ

「ロータリーを学び、語り、

奉仕を実践していこう。“Think”」

週報 第266回

2022年8月26日

八千代ロータリークラブ CLUB NO.15070

今回例会行事

テーマ：ガバナー公式訪問

担当：会長・幹事

次回例会 9月2日

テーマ：今年度の会員増強活動について

担当：クラブ奉仕委員会

卓話者：市原 正男会員

◆◆◆◆第2665例会◆◆◆◆

司会 中島貞好

「我らの生業」「四つのテスト」

お客様

松本陽子様

会長挨拶

会長 杉 崇

皆さん、こんにちは。

俳句「八月は 六日九日 十五日」の 15 日は終戦の日でした。皆さんもそれぞれの場所で、戦争の犠牲者を悼んで、黙祷を捧げたと思います。一方、終戦の日の国民の平和への願いと比して小さい話になりますが、前回お話ししたように日本のRCも戦争により脱会、復帰と先達たちの苦労は大変でした。

さて、今日も引き続きロータリーの話をします。ロータリーソングについてです。

・先ずは、ロータリーソングの起源について

日本のRCは、例会でロータリーソングを合唱します。この習慣は、ロータリーの創立当初(1905年)からではないかと思われています。シカゴクラブの60年の歩みを、小説風に書き綴った「The Golden Strand」(Oren Arnold著 1966年)によれば、「ロータリーの創立後まもなく(1905年の秋頃から)、例会の晩餐会の席上、話題が途切れた時、談話が長時間に及んで疲れ気味の時など、

Harry Ruggles の“さあ、皆で歌おう”的頭で、毎回のように歌ったのである」という記載があります。「Smiles」とか「My Hero」などの、大衆的な歌が好んで歌われたそうです。Harry Ruggles は歌好きであったこと、ロータリーソングは場の雰囲気を和まし、一体感を築こうという狙いから、始まったことは確かなようです。日本の場合は、今も多くのクラブで、例会の最初にロータリーソングが歌われていると思います。いずれにしても、ロータリーソングの合唱は例会場をなごませるだけでなく、ロータリーの心が、入っているので私は大好きです。

・日本のロータリーソングについて

ロータリーソングは、現在世界で140曲以上あるそうです。日本のRCは第二次世界大戦前の日中戦争から影響を受けていた。何かの秘密結社と思われ、例会、ロータリーソングなど英語だったため、政府の監視にさらされ、例会には特高(特別高等警察)がきて監視されていた。会員たちは政府の火の粉をなんとか振り払おうと、それまで英語で歌っていたロータリーソングを、日本語で歌おうということになり、広く日本中から募集し、1935年(昭和10)の京都地区大会で、その入選作四編が発表されました。そのなかの『奉仕の理想』や『我等の生業』はいまでも歌いつづけられています。「奉仕の理想」は、作詞は前田和一郎(京都RC会員、都製薬所社長)で、作曲は荻原英一(東京RC会員、東京音楽大学教授)です。実は、前田が書いた元々の歌詞は“世界に捧げん我らの生業

”だったそうです。しかし、時のガバナー村田省蔵（大阪RC会員、大阪商船社長、後の近衛内閣で通信兼鉄道大臣）から、時勢に鑑みて“御国に捧げん我らの生業”に変更するようにと要請され、変更を余儀なくされたそうです。「奉仕の理想」は自己の職業奉仕を通じて世のため、人のためになるように最終的にはロータリー綱領にある世界平和が永遠に続くことを願望している歌詞である。「我等の生業」は、作詞が高野辰之（東京音楽大学教授）、作曲が岡野貞一（東京音楽大学元教授）です。一業種一人のロータリアンがクラブを結成し、平和親睦の目的に向かって、クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕の四大部門を通じて努力するという内容である。特に歌詞には職業奉仕の重要性が強く歌われている。実は、二人ともロータリアンではありません。そればかりか、この二人は唱歌「ふるさと」をはじめ、「春の小川」、「春が来た」、「おぼろ月夜」、「紅葉（もみじ）」などの歌で、作詞・作曲の名コンビでした。「ふるさと」は、曲調（旋律）は賛美歌ですが、歌詞は和歌を基調としたもので、深い趣がある日本独自の唱歌として知られています。それだけに、「我らの生業」に同じような趣を感じる人も少なくないでしょう。

第2次大戦後に作られたロータリーソングでは、1952年（昭和27年）に大阪の地区大会で発表された「手に手つないで」が有名です。これは、東京RC会員の矢野一郎によるものです。さらに、彼は翌1953年（昭和28年）に「それでこそロータリー」も発表しています。どちらの曲も、彼の作詞・作曲です。「手に手つないで」は、クラブや地区で行われる懇親会の最後に、参加者全員が手をつなぎ、大きな輪を作つて大合唱する際の歌です。入会後しばらくの間は、恐らく誰もが恥ずかしく感じたと思いますが、すぐに楽しいと実感できるようになったのではないでしょうか。そうなれば、もう立派な（？）の仲間入りでしょう。もう一つ、忘れてはならないロータリーソングが「四つのテスト」です。ご存知のように「四つのテスト」は、1932年にシカゴクラブ会員のHerbert John Taylorが会社再建の経営管理指針として考案したもので、これにより会社は見事、再建されたそうです。そこで、1954年（昭和29年）、日本のロータリー創立50周年記念事業の一環として、「四つのテスト」の邦訳が公募され、当選したのが本田親男（東京RC会員、毎日新聞社長）の作品だったのです。以来、ロータリアンなら誰もが暗唱できる名文として引き継がれてきました。1973年（昭和48年）、これに歌をつけたのが水谷暢宏（相模原南RC会員、

作曲家）です。彼は真面目な性格で敬虔なクリスチヤン、「四つのテスト」を暗唱できるように（と附曲）したそうです。その後、同年11月に甲府市で開催された第359地区（現2620地区）の地区大会で発表され、「ロータリーの友」誌にも楽譜付きで掲載されました。以後、全国に広がっていきました。興味深いことに、「四つのテスト」の作曲版には、歌手としても有名な藤山一郎（東京西RC）の「四つのテストの歌」もあります。これは、1988年（昭和63年）6月号の「ロータリーの友」誌にも掲載されました。しかし、今も全国的に歌われているのは、前述の水谷暢宏が作曲した「四つのテスト」です。現在、「ロータリーの友」事務所から販売しているロータリーソング集にしても、掲載されているのは水谷暢宏の「四つのテスト」です。それ以外にも有名なロータリーソングとして、1973年（昭和48年）の「日も風も星も」があります。この歌は作詞が楠本憲吉（東京世田谷RC会員、俳人）、作曲が古関裕而（東京世田谷RC会員、作曲家）によるものです。二人とも有名人ですが、特に古関裕而は「長崎の鐘」、「君の名は」、「紺碧の空（早稲田大学応援歌）」、「巨人軍の歌」、「栄冠は君に輝く」、「オリンピック・マーチ」など、その作品は生涯で5000曲を超えていて、日本が誇る国民的作曲家です。2020年のNHK朝の連続ドラマ「エール」の主人公としても取り上げられているので、ご存知の方も多いでしょう。

このようにロータリーソングは戦時中及び戦後に作られています。いずれも世のため、人のためのロータリーの心が入った曲です。会員はその心を持って歌いましょう。

幹事報告

幹事 中村賢治

【理事会報告】

- ・予決算について確認し承認となりました。
- ・青少年交換学生一般募集：英和高校から短期留学生の応募があり承認されました。
- ・遠藤会員から新入会員1名の紹介がありましたので、取り進めます。
- ・今後の例会体制については会員の皆さまの健康を一番に考え運営する事とします。

【連絡事項】

- ・8/26 ガバナー公式訪問
- ・8/26 青少年交換留学生の佐々木彩心さんが帰国します。
- ・地区大会の2日目に物産展が開催されます。出店希望の方はお声がけ下さい。

表 彰

米山功労者メジャードナー

上代修二会員



委員会報告

社会奉仕委員会 委員長 佐々木俊一

社会福祉協議会振興ゴルフに2組参加致します。

青少年奉仕委員会 委員長 菊川秀明

次年度の青少年交換学生として英和高校の1年生が候補生に決定しました。英語が得意で既に英検2級をお持ちです。また音楽もお好きで音楽を通して異文化を学びたいとの事です。非常に前向きな生徒さんですので、今後会としてサポートする事になります。よろしくお願ひ致します。

R財団委員会 副委員長 橋本幹雄

グローバル補助金奨学生の松井智世さんに対する補助金が8/18に入金されましたので、全額ご本人宛に送金完了しました。

お祝い

本人誕生日：佐久間会員・鈴木会員

夫人誕生日：鈴木恭代様



例会行事

雑誌委員会

委員長 朝戸健夫

松本陽子さんは、当クラブの交換留学生として1977年3月から1年間ニュージーランドに派遣されました。よろしくお願ひ致します。

テーマ：国際ロータリー青少年交換留学
プログラムでの経験を礎にして
卓話者：松本 陽子様



本日皆さまの前でお話しさせて頂く機会を頂き、大変有難く光栄に思っております。私は1977年3月から1978年にかけ、国際ロータリー青少年交換留学生としてニュージーランド、南島Christchurchで一年間を過ごしました。その後日本に帰国し、高校、大学を卒業、就職、結婚をして、2003年に当時5歳と3歳の子供たちを連れ、家族でニュージーランドに移住しました。

【ニュージーランドについて】

まずニュージーランドについて簡単にお話しさせて頂きます。ニュージーランドは南半球に位置し、面積はほぼ、日本から四国を除いた大きさです。人口は、福岡県より少し少ない、約480万人です。南島と北島の二つの島から成り立っており、Christchurchは、北島の商業都市のAuckland、首都であるWellingtonに次ぐ三番目に大きい都市で、南島では一番大きい都市、人口は約40万人ですから、八千代市の約2倍の人口を有しています。面積で比較してみると、大体静岡市の面積と同規模で、そこに静岡市の3/4の人口を有する、という感じです。また、多くの方がニュージーランド」というと、ラグビーのAll Blacks、試合が始まる前の戦闘の踊りHaka、牧場、羊などを思い描かれると思いますが、その通りの自然に恵まれた酪農国です。直行便はニュージーランド航空のみでAucklandまで約10時間のフライトで、飛行機の上空からは、緑の絨毯の上に白い点々=羊の風景が見られます。Christchurchは

Garden city と呼ばれ、イギリス以外で最もイギリスらしい街と称されています。イギリスからの移民者がイギリスの街を模して作り、街の中心部には街のシンボルである Cathedral Church が位置し、街を横切る Avon 川と広大な Hagley Park があります。残念ながら 2011 年の地震で Cathedral Church は損壊し、現在も修復が続いている状態です。

【留学生活について】

さて次に留学生活についてお話しさせて頂きます。一年間の留学期間中に4つのホストファミリーに滞在しました。素晴らしいホストファミリーに恵まれ、充実した一年間を過ごすことが出来ました。また、ホストファミリーだけでなく、他のロータリアンも学校の休みに色々な所に連れて行って下さり、様々な初めての経験をさせて頂きました。氷河散策やスキー、ヨットに1週間滞在したり、Holiday House で水上スキーをしたり、と日本では出来ない経験をさせていただきました。私が通わせて頂いた学校は、1889 年に創設された Christchurch でも最も古い学校の一つで Rangi Ruru Girls' School という私立の女子高でした。本来交換留学生は公立の学校に通う事が原則でしたが、一番目の Host Father が当時 Host 先である Rotary Club of Christchurch の会長であり、Rangi Ruru の理事であった為、日本からの留学生を受け入れる事は学校にとっても有益であるとの判断で理事会の合意を得て、受け入れが決まったそうです。Rangi Ruru とは先住民族マオリの言葉で、「青い空の下の Shelter」という意味です。マオリの言葉はローマ字読みに似ていますので、日本人にとっては非常に読みやすい言語です。Rangi Ruru は Form 1 ~ 7 の 7 学年(今は Year 7 ~ 13 という呼称に変わっていますが)、日本式で言うと、7 学年の中高一貫校で、私は Form 6 (日本で言う高校 2 年) に編入した形でした。学年の違うクラスの授業も選択していたこともあり、学年の違いに関わらず生徒はみな Friendly ですれ違うと、"Hi, Yoko" と気軽に声をかけてくれ、すんなりと学校生活になじむことが出来ました。その当時まだニュージーランドへの直行便も無く、ニュージーランドに関する情報は余りありませんでした。友人に留学の件を話すと、ニュージニアと混同されたくらいでした。当時外国といえば、アメリカのイメージが強く、通学といえば、ジーンズにブックバンドのイメージを持っていたのですが、イギリスの伝統が残るニュージーランドでは、制服に帽子をかぶつての通学でした。当時の制服も同じような感じで、実は、今だにこのブレザーと帽子は家にあるのです。

【交換留学を終えて】

1 年間の交換留学を終え、日本に帰国後、休学していた高校に復学しました。交換留学を経験し、私の興味は語学や異文化に向けられ、広い世界を見たいという思いが強くなり、大学ではドイツ語を専攻しました。大学時代には旅行会社でアルバイトし、学生としては非常に異例だとは思いますが、添乗員としてヨーロッパに行かせて頂く機会にも恵まれました。RC の交換留学生として異文化の中、英語環境で生活した経験があったからこそこのような機会を頂くことが出来ました。大学卒業後には当時のアメリカの大手会計事務所 ビッグ・エイトの一つである会計事務所に就職しました。仕事はやり甲斐のあるものでしたが、広い世界を見たいという思いはくすぐっており、転職をしてヨーロッパの航空会社、スカンジナビア航空に勤務するようになりました。確か 1990 年頃の事だったと思いますが、4 番目の Host Father の Alan が当時仕事でアジアとの間を行き来していました。ある日彼から連絡があり、乗り換えて成田空港に立ち寄るが、時間制約があり、入国は出来ないとの事でした。もう時効だと思いますので、お話ししますが、まだ若かったのですね、私は。どうしても Host Father に会いたかった私は、その日仕事が休みだったのですが、制服に着替え、乗り継ぎロビーでお父さんと再会しました。暫く話を弾ませ、彼の搭乗時間になり、私たちは Hug をして別れました。制服を着た航空会社職員が、一乗客と Hug しあう姿は、恐らく周りのお客様からは奇異に見えたことでしょう。Alan は記憶力が良く、今も折に触れ、その話をして笑っています。

【現在の私】

留学を終えて帰国した私にとって、NZ はいつも帰りたい第二の故郷のような存在であり、その後も機会があると NZ の Host Family を訪ね交流は続けていました。結婚し子供が生まれた後に、またニュージーランドを訪問し、公園で人を恐れずに鴨が水辺で遊び、子供を連れた家族が餌をあげながら散歩する風景を見て、この自然に囲まれた環境で子供を育てたいという思いが強くなり、ニュージーランドへの移住を決めました。それはもちろん、私のホストファミリーとの繋がりが続いていたからこそこの決断でした。移住当時子供たちは 5 歳と 3 歳で、それぞれ小学校と幼稚園に通い始めました。NZ は多国籍国家で移民を積極的に受け入れており、子供が通っていた小学校では当時 36 か国の子供たちが、現在では 52 か国の生徒が学んでいます。ま

た同時に移民をサポートする体制も手厚いものがあります。

【仕事について】

現在は Christchurch の街の中心部にある Cathedral Church と同じ宗派カンタベリー聖教の、NZ の先住民族マオリの南島統括本部の Finance Manager として会計の仕事をしております。また、私は Justice of the Peace for New Zealand 日本語に訳すと治安判事という職務を拝命しております。略して JP と呼ばれ、Japanese の JP と混同しがちですが、これは無給で社会に奉仕する名譽職であり、日本人では私が二人目の JP として選任を受けました。選任の条件としては犯罪歴の有無などの人物調査、どのような形で社会と関わって貢献をしてきたかを含めた民間からの推薦状が国會議員に提出され、その国會議員の推薦を得て、面接、トレーニングやテストなどを受け、裁判所で宣誓の後に認定されます。13 世紀の英国に起源を持つこの職務は、社会の治安を維持するために国王/女王から行政や司法に関する権限と責務を与えられてきたものです。

JP の主な職務

- ①書類に証人署名をする(原本照合証明するなど)
- ②(供述書や証言書に)宣誓を受け、その証人となる
- ③告発、告訴、召喚の発給申請の受理
- ④家宅捜索令状や逮捕令状の発給
- ⑤証人の召喚命令書の発給
- ⑥子どもを虐待から守る保護命令を出す

司法職務としては

- ①一定の法律違反に対する即決裁判
- ②起訴される法律違反に対する予審
- ③被告人から出された保釈申請の審問
- ④再拘留または拘留延期の許可
- ⑤軽い交通違反に対する裁判

といったものが挙げられますが、一民間人に与えられた権限としては専門性が高く、また非常に多岐に渡っており、特にこの司法職務に関しては別途トレーニングが必要になってきます。私を含め多くの JP が別に仕事を持っていますので、主に①②の業務、日本で言うと、司法書士や公証人のような業務を、仕事からの帰宅後や週末を利用して行っています。

【Rotary Club of Christchurch】

私のホストクラブである Rotary Club of Christchurch は 1922 年に創設され、今年設立 100 年を迎えた古いクラブです。私が交換

留学生だった頃は、Christchurch には 4~5ヶ所あった Rotary Club が現在は 14~5ヶ所に増え、それに伴って 200 名程いたメンバーも分散され、現在は 60 名程だそうです。光栄なことに、学生時代の私を支えてくださったこのホストクラブに、メンバーとして受け入れて頂きました。私は常々、私が受けた恩恵をどのような形で世の中にお返しする事が出来るだろうかと考えていたので、Christchurch でも一番古く伝統のある Rotary club が、元交換留学生であった一外国人の私を受け入れてくださり、このような機会を与えてくださった懐の広さに唯々感謝するばかりです。



【 碇 】

1977 年派遣の交換留学生の選考はその前の年 1976 年に行われました。当時私は 15 歳、中学 3 年生でした。選考を通じ、留学から帰ってきた先輩と知り合い、色々なお話を聞く機会に恵まれました。いつ、どの時点で、どなたが言われた言葉かも、40 数年たった今では定かではありませんが、今も心に残っている言葉があります。それは、「民間外交官たれ」という言葉です。今改めて考えても、壮大で重い意義を持った言葉です。今日、私たち日本人が海外に出ても「日本人」ということで非常に好感を持って受け入れられるのは、先人の礼節を踏まえた行いの恩恵に恵るものだと思います。私は南島では初めての日本からの交換留学生であり、私の行動や振る舞いが日本人に対する印象を変えてしまう、というある種の責任を感じながら、この言葉を胸に 15 歳の私は旅立ちました。決して優等生であったわけでもなく、普通の高校生として自由に楽しく過ごしていましたが、この言葉は常に私の中にあり、行動指針となりました。中学を卒業したばかりの私にこのような大きなチャンスを与えてくれ、心配しながらも信頼して私を送り出してくれた両親には、感謝を伝えても伝えきれません。国際ロータリーという世界的な組織を通しての恵まれた留学環境が、海外への敷居がまだ高かった時代に旅立った私の中

に、小さな種を蒔いてくれました。その種は、Host Family や支えてくださった Rotary Club の皆さんからの愛情を与えられ、育まれ、私の中で成長していきました。多感なあの時代の、あの経験無くして現在の私はありません。ロータリー青少年交換の Home Page の最初のページに次のような記載があります。

【ロータリー青少年交換でできること
青少年交換で色々な可能性が広がります。
・自分で考え、率先して行動する力を育てる
・外国語や異文化を学ぶ
・海外の若者と交流し、友だちをつくる
・グローバルな市民になる

ロータリー青少年交換 年次報告書

ロータリー青少年交換は、世界中で平和と社会正義の担い手となる若者たちにインスピレーションを与えています。その影響は、交換が終わった後もずっと続いていきます。このプログラムを可能としているのは、ロータリー会員や地域社会の人びとなど、何万人ものボランティアによる献身とリーダーシップ、そして熱意です。ロータリー青少年交換がいかに奉仕と文化理解を生み、ロータリーとの生涯にわたるつながりを育んでいるかを最新の報告書でご覧ください。】

私の経験は、正にここに表されております。国際ロータリー青少年交換プログラムでの経験は私に、恐れずにチャレンジする事、そして人との交流を大切にする事を教えてくれました。国際ロータリーという世界的に権威のあるしっかりした組織の後ろ盾により、素晴らしいホストファミリーに恵まれ、半世紀近くもの間、お付き合いを続けてくださり、変わらぬ愛情を持って接してくださっており、今もホストの方々の前に行くと、私は一瞬にして15歳の私に戻り、今も守られている気がします。私が受けたものを彼らにお返しするには、私はまだまだ力不足ではありますが、次の世代の方達に少しでもお伝えすることが出来れば、少しでもご恩返しが出来るのではないかと考えながら、ロータリークラブの活動を続けていきたいと思っております。同じロータリークラブメンバーとして、今日の私のルーツ、Home club である八千代ロータリークラブの皆さんと、末永くお付き合い

をさせて頂けたら有難く思います。

最後になりましたが、八千代ロータリークラブと皆さまの益々のご繁栄を、遠く離れた New Zealand の空の下から祈っております。本日はこのような機会を与えてくださいまして、心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。

～ニコニコ BOX～

¥13,000-

☆松本陽子様の卓話が楽しみです。

君塚欣哉・鈴木・風間・杉・江口

☆9/17～25 村上緑地公園で八千代彼岸花祭りを開催します。是非お越し下さい。杉山
☆8/6 ユネスコ協会のキックオフセレモニーにご参加の小林会員、上代会員、江口会員、安宅会員ありがとうございました。 齋藤敏夫
☆毎日暑いですがコロナにも罹らず頑張っています。 宮野

～友愛 BOX～

¥50,000-

☆62歳の誕生日。まだまだ働き盛りだそうですので、頑張ります。 鈴木

☆明日で68歳になります。健康管理に注意しています。 佐久間

☆妻に綺麗な花ありがとうございます。鈴木

☆お盆のお花ありがとうございます。

永田・遠藤・及川

☆当RC2人目の交換学生 1977.3～78.3
(ニュージーランド)松本陽子さんです。

よろしくお願ひ致します。 朝戸

☆松本陽子様ようこそ。卓話が楽しみです。君塚桂一・山浦・松戸・中島仁・池田・江頭
飯生・菊川・日下部・寺沢・中島貞好・市原
中村・上代

☆来年2/16(木)国立能楽堂にて舞踊会を開催します。私は融(とおる)光源氏のモデルとなつた王子様)を謡います。全曲見れば美しい日本が見えてくる。 佐野

☆早く涼しくなってほしいです。 栗原

☆8/20～31 フルガーテン八千代のコミュニティギヤラリーで芸文協企画部展が開催されますので是非見て下さい。 小村

☆最近元気がでません。今日は早退。渡邊

☆盆休も終わりましたがまだ暑いです。古川

	会員 総数	出席 対象者	出席者	%
8/19	5 3	4 7	3 8	80.85

8月のロータリーレート 1ドル¥133-

近隣クラブ例会日

火曜日	四街道R.C	例会場
火曜日	八千代中央R.C	四街道ゴルフクラブ
水曜日	習志野R.C	ヴィッシュトンホテル・ユーカリ
水曜日	佐倉中央R.C	習志野商工会議所会館
木曜日	佐倉R.C	第1ヴィッシュトンホテル・ユーカリ第3夜間オルベート
木曜日	習志野中央R.C	フランス料理 シェ・ムラ
		習志野商工会議所会館

■クラブ広報委員会 委員長:田村隆治 副委員長:久土地 剛

■出席委員長 山浦恭宏 ※欠席の際は必ず火曜日までに出席委員長に連絡して下さい。

■例会日 金曜日 12:30～13:30

■例会場 パッソ・ノヴェイタ(八千代市緑が丘 1-1-1 公園都市プラザ 1F)